



目次 Contents

JA役員、各組織 新年の挨拶	2
代表理事組合長 新年の挨拶	3
中央会会長 新年の挨拶	4
酪農対策協議会長 新年の挨拶	5
青年部・女性部長 新年の挨拶	6
乳牛改良同志会会長 新年の挨拶	7
同志会通信	8
新規EX獲得牛・乳質乳価	9
中央会からのお知らせ	10
食農パートナー通信	11
別海高校専攻科お知らせ	12
別海高校活動報告	13
宮農対策情報	14
関連会社より新年のご挨拶	15
十二支・寅年の豆知識	16

令和四年寅年

迎春日

謹んで新春の お慶びと申し上げます

佳き年を迎え皆様のご健勝を
お慶び申し上げます
本年もよろしくお願い申し上げます

令和四年元旦



中春別農業協同組合

監 事(員外)	監 事	代表 監 事	理 事	理 事	理 事	常 務 理 事	専 務 理 事	副 組 合 長 理 事	代 表 理 事 組 合 長	会 長 理 事	
森 忠 義	高 橋 真 悟	荒 青 史	片 野 大 介	山 崎 浩 二	遠 藤 均	伊 藤 一 吉	登 義 直	大 山 武 永	原 内 修	望 月 英 彦	西 川 寛 稔

中春別農協青年部部長 片岡 卓也 外部員一同	中春別農協女性部部長 南澤 順子 外部員一同	中春別農協良質乳生産 推進委員会委員長 伊藤 一吉 外部員一同	中春別農協良質粗飼料 生産利用対策委員会委員長 原内 修 外部員一同	中春別地区河川流域環境保全 推進委員会委員長 伊藤 一吉 外部員一同	中春別乳牛改良同志会会長 寺澤 佳吾 外部員一同	中春別乳牛検定組合組合長 望月 英彦 外組合員一同	中春別農協農業後継者 対策協議会会長 原内 修 外組合員一同	中春別農協年金友の会会長 紫藤 正幸 外組合員一同
---------------------------	---------------------------	---------------------------------------	--	--	-----------------------------	------------------------------	--------------------------------------	------------------------------



対話を中心に、協同の力で乗り越えよう

中春別農業協同組合 代表理事組合長

望 月 英 彦

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下の中、通常総会までも一昨年同様書面決議中心の開催となり大変残念でなりません。組合員の皆様のご理解とご協力により全議案承認いただきましたことに改めて深く感謝申し上げます。

当丁Aといたしましては、各種行事・会議またイベントが中止もしくは規模の縮小など、数多くの影響をもたらすこととなり、組合員の皆様と顔を合わせて話す機会が少なかつたことを大変心苦しく思っております。

一番草収穫は、天候に恵まれ良質なものを確保でき、二番草収穫においてもおおむね良質なものが確保できました。また、当地域において少ない作付面積ではありますが、デントコーンは過去最高の出来ではないかと思われれます。再

生産に向けた粗飼料の確保に安堵しているところであります。

当丁Aの営農年度の生乳生産乳量（令和2年12月～令和3年11月）は、128,722ト（前年比100.56%）となり、引き続き増産と安定に向けてと申し上げたいところではありますが、コロナ禍において昨年から徐々に牛乳製品在庫が積み上がっており、年末や3月末の学校給食が休みの時期には、処理不可能乳の発生も危惧されております。ホクレン・乳業メーカー含め、生産者の協力としっかりとした対応に期待をしております。

さて、11月に第30回丁A北海道大会が開催され、本来なら役員、青年部・女性部長と共に参加する予定ではありましたが、会場の人数制限があり、会場300人とWEB配信による参加となってしまいました。北海道500万人と共に創る「強い農業」「豊かな魅力ある地域社会」の達成が決議され

ました。その中で、組合員と対話を通じての実践と改善の取り組みとありました。コロナ禍で一番出来なかったことであり、これからは対話を中心に組合づくりに取り組みたいと思っております。

今年度は第11次中期計画の最終年度であり、地域振興計画を基本に第12次中期計画を作成中であります。その先の変化が多い諸情勢を見据え、組合員の皆様と共につくっていく、第48回通常総会に提案させていただきたく、多くのご意見を賜りたいと思っております。

また、燃料の高止まりや営農資材の値上がりなど、色々な面で心配材料があります。生乳生産目標が前年度目標数量の100%と大きく制限されておりますが、農民は知恵を出し合い、汗を流すことにより必ずや明るい兆しが見えてくると信じております。組合員・役員が一丸となって取り組み、協同の力で乗り越えていきたいと思っております。

新年度に向けて、国からは酪農家に措置されてきた環境負荷軽減支援（エコ畜事業）、また「みどりの食料システム戦略」が示されておりあります。畜産の在り方、温室効果ガス排出削減など内容を熟知し、前向きに取り組みたいと思っております。

当丁Aの強みである青年部・女性部の活動は元より、生産者酪対と丁Aの運動を一層強固なものとして、持続可能な酪農経営に組合員の皆様と共に進んでいきたいと思っております。

壬寅（みずのえとら）

壬寅年は厳しい冬を越えて芽吹き始め、新しい成長の礎となると言われております。日本ハムフアイターズに新庄剛志さんが監督として北海道に帰ってきました。夢と希望の発信を目の当たりにして、私たちも同様に明るい前向きな年になることを願い新年の挨拶いたします。



令和4年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうござ
います。

組合員並びに役職員の皆様には、
コロナ禍にあってもその苦境にも
負けず、日々営農に更に邁進され
ておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社
会の発展に向け、日頃より多大な
ご尽力をされていることに対し
も、改めて敬意と感謝を申し上げ
る次第であります。

昨年の本道農業につきましては、
春先は天候に恵まれ順調に推移し
たものの、7月～8月にかけての
長期間の猛暑や少雨による干ばつ、
また、9月に発生した雹や大雨に
より、一部の地域や作物によって
は、生育が大変、心配されたもの

の、おおむね平年作を確保するこ
とができました。

しかしながら、一昨年から引き
続き、新型コロナウイルスとの戦
いが長期化し、今までの日常とは
大きく変化した1年でありました。

農業分野においても例外ではなく
各種イベントの自粛、外食の需要
減少等の影響により、各作物の消
費に大きな影響が出ています。

今後は作物ごとの実態を踏まえ
た、国産・道産農畜産物の需要喚
起・消費拡大を図るとともに、外
国人技能実習生が入国にも影響が
あり、農作業の人材確保にも大き
な課題となっておりますので、北
海道、全国連とも連携し、JAG
グループ北海道としてしっかりとそ

の対応を図ってまいります。

昨年は第30回のJ A北海道大会
を開催し、「北海道550万人と
共に創る『力強い農業』と『豊か
な魅力ある地域社会』の達成」と
いう将来ビジョンが決議されまし
た。

コロナ禍やデジタル化への対応、
SDGsへの貢献、信用・共済事
業をはじめとしたJ A経営を取り
巻く事業環境への対応など、北海
道農業、J Aグループ北海道を取
り巻く環境が急激に変化しており、
このような環境に適応していくに
は、改めて、協同組合運動の原点
である「対話」を通じて、実践方
策を設定し、実践と改善をくり返
すことで、変化の波をJ A運営に

取り込んでいくことが必要であり、
組合員・役職員が一丸となって
しっかりと取り組んでいくことが
重要となります。

結びになります。本年は壬寅
年です。十干の「壬」は陽気を下
に宿すという意味を持っており、
生命の誕生を宿す意味を表します。
一方、十二支の「寅」にも壬と同
様で、草花が伸びようとする状態
を表しています。この謂われにあ
やかり、本年が豊穰の年となるこ
と、新型コロナウイルスの1日も
早い終息と皆様のご健勝をご祈念
申し上げます、年頭のご挨拶といたし
ます。



厳しい酪農情勢を乗り越えよう

中春別酪農対策協議会 会長 山崎 浩二

新年あけましておめでとうござ
います。会員各位におかれまして
はますますご健勝のことと存じま
す。また、昨年中は当会の事業運
営に對しまして特段なるご理解と
ご協力を頂き心よりお礼申し上げ
ます。

昨年を振り返りますと、世界中
で猛威を振るった新型コロナウイルス
ルスが一番に思い出されます。一
昨年の春に日本に上陸し今年の夏
には1日2万人の新規感染者が確
認され、緊急事態宣言等がたびた
び発令されました。ワクチン接種
の効果もありここ最近では1日
100〜200人程の感染者数に
なり落ち着いてきましたが、諸外
国ではいまだ沈静化する様子も見

えず世界経済や物流に大きな影響
を与えています。また、年末には
新たな変異株も出現し予断を許さ
ない状況が続いています。

酪農情勢を見ますと令和3年度
用途別乳価や補給金単価、限度数
量は前年据え置きとなりましたが、
乳製品の過剰在庫対策として90億
円の販売対策が実施され、畜産物
価格も一昨年から緩やかな低下傾
向ではありましたが夏以降乳用牛
を中心に急落しました。また、配
合飼料や各種生産資材価格も上昇
し、収益の確保が難しい1年とな
りました。

2年続けてコロナ禍での酪農対
策活動となりましたが前半は乳製
品消費拡大運動を中心に、後半は

通常の要請活動を実施することが
できました。道要請、中央要請共
に乳製品過剰在庫の削減とエコ畜
事業の要件緩和を中心に強く要請
してまいりました。

この様に大変厳しい酪農環境下、
令和4年度の北海道生乳生産目標
数量は令和3年度生産目標数量×
101%となりました。農協単位
等での若干の調整は出来るかもし
れませんが新規就農枠等を考慮す
ると事実上伸び率0%での経営と
なります。皆様それぞれに経営状
況は異なることと思いますが、い
ま一度ご自身の経営を見直して口
スがないかを確認していけばより
足腰の強い経営体となり、厳しい
酪農情勢を乗り越えられるものと

思います。

最後になりましたが、会員並び
にご家族の皆様にも今後ともご理解
とご支援を賜りますと共に、皆様
にとって充実した1年となります
よう心よりご祈念いたします。





模索と始動

中春別農協青年部 部長 片岡卓也

新年明けましておめでとうございます。
日頃より当青年部活動におきまして、組合員皆様をはじめ農協や関係機関の皆様のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、台風や長雨等、天候不順による飼料作物への影響も少なく、天候に恵まれ

たことから、一番草・二番草共に
おおむね良質な粗飼料が確保でき
たかと思われま。一方では、長
きにわたる新型コロナウイルス感
染防止への観点から「3密」に配
慮した事業運営となり、組織活動
の展開が思うように進まない年と
なりました。
そのような状況下の中でありま

したが、昨年度は自粛で行うこと
ができなかった事業も、工夫を凝
らし、地元小・中学生を対象に募
集した標語のロールパックメッ
セージ作成や地区内での視察研修
会、更にはコロナ禍における牛乳
乳製品の消費拡大に向けて、地元
小・中学生を対象に消費拡大のP
Rを目的としたグッズや乳製品の

配布を行いました。
また、青年部・女性部合同での
お中元・お歳暮ギフトは感染防止
に配慮しながら実施することがで
き、注文を頂いた皆様のご協力に
心より感謝いたします。

本年度事業も残すところ3ヶ月
余りとなりましたが青年部一同、
これからも一層気を引き締めて各
活動に取り組んでまいりますので、
皆様方におかれましては今後とも
ご理解とご協力をお願い申し上げ
ますとともに、ご健勝とご活躍を
心より祈年申し上げ、新年の挨拶
といたします。



「できることからはじめよう」を実践

中春別農協助成部 部長 南澤順子

明けましておめでとうございます。
す。ご家族おそろいで輝かしい新
年をお迎えのことと謹んでお慶び
申し上げます。日頃より女性部活
動に対しまして、部員の皆様をは
じめ農協・各関係機関の皆様のご
理解とご協力を賜り厚くお礼申し
上げます。

さて、昨年を振り返りますと、
新型コロナウイルスの蔓延により
社会情勢が急激に変化することと
なりました。北海道においても3
度にわたり緊急事態宣言が発令さ
れ、新北海道スタイルの徹底など
感染拡大防止に向けた対策が実施
されました。令和3年2月にはワ

クチンの接種が開始され、新規感
染者数も大きく減少してきている
ことから、コロナ禍の収束が期待
されます。私たち女性部は「でき
ることからはじめよう」を実践し
中春別地域のゴミ拾い、花壇整備、
フラワーアレンジメントを行いま
した。また、消費拡大事業として

青年部と合同でお中元・お歳暮の
発送作業を無事に終えることがで
きました。
幅広い活動に参加できるのが女
性部です。助けあったり力を合わ
せたり、一人では実現が難しいこ
とでも仲間と共に知恵を出し合い、
計画実行していきたいと思ってい
ます。
最後になりましたが今後も女性
部活動にご指導・ご協力をお願い
するとともに皆様の健康とご多幸
を心からお祈り申し上げ新年の挨拶
といたします。



一日も早い回復を願う

中春別乳牛改良同志会 会長 寺澤佳吾

2022年、新年を迎えるにあたり日頃より格段のご理解、ご協力、ご指導を賜りました皆様へ謹んでお慶び申し上げます。

また、当同志会事業推進におきましては、農協はじめ、各関係機関の皆様にも多大なるご協力をいただき、役員、会員一同、心より感謝申し上げます。

昨年の酪農情勢に目を向けますと、乳価は高値で推移する一方、个体販売の価格はピーク時よりも下落しており、今後の市場動向を注視していく必要があります。更には、原油価格の高騰や配合飼料の価格が急激に上昇、その他生産資材価格も値上がりしており生乳

生産費が大幅に増嵩し酪農経営収支は悪化の一途であります。

しかしながら、各種事業の利用により、生産基盤の拡大・拡充、雌雄選別精液の利用拡大により乳牛頭数も増加傾向にあります。

こうした情勢下、令和3年度の同志会事業といたしましては、新型コロナウイルスの感染防止対策を万全に講じることが極めて困難であることから各種ショウ、共進会が中止となり、当会主催で毎年多くの参加者のもと開催しております、「講習会」等も、会員・参加者の安全と健康を第一に考え開催できる方策を検討いたしました。が、残念ながら開催を中止せざる

を得ないという判断に至りました。

限られた事業となりましたが、地区内視察研修の開催により新しい技術と知見を深め、組合員や地域の皆様にショウや乳牛改良に触れ興味を持って頂けるよう組合だより紙面上で年2回の「ホルスタイン写真コンテスト」、特別企画「絵画コンテスト」を開催いたしました。

更に酪農全国誌に広告を掲載し、「中春別ホルスタイン」をアピールいたしました。日頃の乳牛改良の成果といたしましては、3頭が新規エクセレントを獲得し、累計エクセレント頭数は246頭を数えます。これも日々の乳牛改良に対する情熱と努

力が実を結んだ結果となりました。

次年度以降も新型コロナウイルスの影響は予断を許さない状況ではありますが、感染症予防対策を講じ、会員・参加者の安全と健康を第一に考え一つでも多くの事業が展開できるよう考えていく所存でございます。

本年も乳牛改良と酪農経営を融合し、中春別の地に根差した「牛」を追い求めるべく、活動して参りますので組合員、農協、各関係機関のみなさまには変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

第43回 ホルスタイン 写真コンテスト

成牛クラス

結果発表

中春別乳牛改良同志会（寺澤佳吾会長）主催で行いました第43回写真コンテスト予想投票は、多数の応募がありました。

序列付けを当同志会久保光大副会長が行い、**正解は、C→D→A→B→F→E**となりました。

残念ながら全問正解者はいませんでした。抽選の結果、藤原莉世さん、鈴木日衣織さん、白石明美さん、橋本諒さん、石井潤さん、成田亮さん、中西美咲さん、紫藤伊織さん、日野原賢也さん、目黒真由さんに賞品を贈呈致しますのでJ A中春別畜産課畜産指導係までおこし下さい。

《 講 評 》

この成牛クラス、非常に乳器が充実した、質感の良い牛たちであると評価しております。中でも1位の牛は乳器の質がこの中で最も望ましく、首も長く乳用性に富んでおります。2位の牛と比較しまして、後乳房の幅、前乳房の付着、乳頭の長さも1位の牛がより望ましいと判断させていただきました。よってベストアダーも1位の牛とさせていただきます。2位と3位の牛の比較ですが、体の長さ、肋の深さ、後乳房の高さにおいてもより2位の牛が好ましいと判断させていただきました。3位と4位の比較ですが前軀から中軀にかけての深さ、皮膚の質感、後肢の角度におきましてより3位の牛のほうが優れていると思われました。4位と5位の比較ですが前軀から後軀にかけての移行の滑らかさ、尻の構造、繋の角度におきましてより4位の牛のほうが望ましいと判断いたしました。そして5位と6位ですが、6位の牛、優れた骨格を持っておりますが5位の牛のほうがより体の深さ後乳房の幅、高さ、前乳房の付着などより優れておりました。

この度は未熟ながらこのような経験をさせていただきありがとうございました。近年の新型コロナウイルス流行の影響により行事や催しが軒並み中止と、情報交換できる場が大変少なくなりました。そのなかでも性選別精液やゲノム解析、OPU採卵の技術進歩により牛の改良スピードが早くなっております。中春別乳牛改良同志会では会員や組合員の皆様により有意義な改良情報を発信できるよう努めてまいりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。



C



D



A



B



F



E



EX-90 07-04

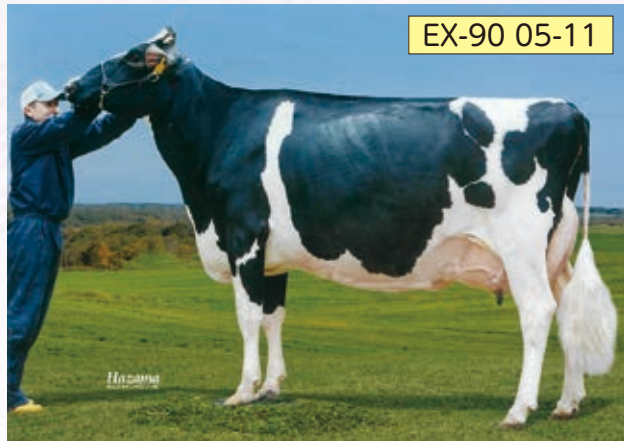


アビリティファーム レクサス ピーターチエ

No.1408310593 2013.10.7生
05-03 305 M8,802kg F4.1% P3.2% SNF8.7%
父：MS アトリーズ SHT アフターシヨック ET
母：アビリティファーム アリスト ピーターチエ

所有者 橋本 幸二 殿

EX-90 05-11



プロミネンス ビューテール GC シヤイン

No.1418414113 2015.3.22生
05-06 305 M11,250kg F4.5% P3.3% SNF8.8%
父：ミスター チャシティー ゴールド チツプ ET
母：プロミネンス ビューテール ボクスター

所有者 寺澤 佳吾 殿

EX-90 04-05

プロミネンス アシュリン エンジェル ユーナ ET

No.1436816609 2017.6.10生
02-11 305 M11,090kg F3.6% P3.2% SNF8.8%
父：ミスター アツトウツド プロカウ ET
母：アーネスト アンソニー オールイグラ ET

所有者 寺澤 佳吾 殿



11月乳質乳価一覧表

		単 価 (円)	算 出 基 礎 (kg)	支払乳価 (円)	前年同期 (円)	差 (円)
乳 脂 肪 分		948.268		38.91	40.06	-1.15
無 脂 乳 固 形 分		600.507		53.23	55.08	-1.85
生 産 者 補 給 金		6.4380		6.44	6.23	0.21
集 送 乳 調 整 金		2.0187		2.02	1.90	0.12
補 給 金 合 計		8.4567		8.46	8.13	0.33
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	3.77	3.80	-0.03
		ランク2	0			
		ランク3	-3			
	体細胞数	ランク1	2			
		ランク2	1			
		ランク3	-2			
合 計				104.37	107.07	-2.70

11月生乳受託実績表

項 目		単価(円)/(kg) %
乳 脂 肪 分 ①		38円91銭
無 脂 乳 固 形 分 ②		53円23銭
生 産 者 補 給 金 ③		6円44銭
集 送 乳 調 整 金 ④		2円02銭
脂 肪 率	全道	4.10%
	農協	4.20%
無 脂 固 形 分 率	全道	8.86%
	農協	8.84%
成 分 乳 価 (①+②+③+④=⑤)	全道	100円60銭
	農協	101円38銭
乳 質 乳 価 ⑥	全道	3円77銭
	農協	3円82銭
乳 代 合 計 ⑤+⑥	全道	104円37銭
	農協	105円20銭
	差異	0円83銭

JA北海道中央会 からのお知らせ

北海道コンサドーレ札幌 × JA グループ北海道

道内23か所の児童養護施設に 「北海道米」と「サイン入りTシャツ」を 贈呈しました！

北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道は、食農教育・社会貢献に係る連携活動の一環として、平成21年から「コンサ・土・農園 (コソドファーム)」をホクレンくるるの杜に開園し、毎年、この農園で収穫した「トウモロコシ」と「ジャガイモ」のチャリティー販売を実施しています。



今年度のチャリティー販売では、294,598円もの協力金が集まり、道内23か所の児童養護施設等に北海道米 (ゆめぴりか・ななつぼし・ふっくりんこ・えみまる)と、選手サイン入りツーサイドTシャツを贈呈いたしました。

また、12月13日には、浦河町の児童養護施設「北海暁星学院」で贈呈式を実施し、(株)コンサドーレ 中嶋取締役 CMO・ドーレくん・JA北海道中央会職員から直接、理事長・施設長・子供たちに各贈呈品をお渡ししました。

今後も、北海道に根差した地域貢献活動を行ってまいりますので、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



コンサ・土・農園 2021
開園式の動画は
こちらから！



北海道コンサドーレ札幌と
JAグループ北海道の
連携活動については
こちらから！





北海道コンサドーレ札幌
栗山トレーナーによる

Vol.6

農作業にも役立つ セルフコンディショニング講座

選手達のコンディショニング、フィジカルトレーニングを担当している栗山渉トレーナーが、誰でも簡単にトライできる、セルフコンディショニングの方法をご紹介します！スポーツをしている人も、していない人もチャレンジしてみましょう！

北海道コンサドーレ札幌と
JAグループ北海道は
食農パートナーです！



今回のテーマ

正月太り解消 全身トレーニング

効率的に体脂肪を削るトレーニングとしてHIIT（ハイ・インテンシティ・インターバル・トレーニング）を紹介します。短い運動時間で体脂肪を削りつつ、全身の筋肉を増やせるメニューです。

20秒間全力で運動し、10秒休む、これを8回繰り返します。4種目を2周します。

運動後、しばらくの間は何もしてなくても平常時よりも脂肪燃焼が高まる効果があります。軽く息が上がる程度の運動ではこの効果は生じないので、**全力、フルスピードで運動を繰り返すことがポイントです。**

秒数のカウントはスマホのアプリを利用すると便利です。アプリストアで「TABATA タイマー」と検索すると沢山ヒットします。毎日取り組んでみましょう！

※エクササイズをすることで身体に痛みが生じる場合はすぐに中止して下さい。強い痛みが継続する場合は整形外科を受診することをお勧めします。

1 クイックスラスタ 20秒



1 足は腰幅よりやや広げ、素早く深くしゃがみ、肘を曲げて手を顔の横

膝・つま先はまっすぐ前に向ける

2 素早く立ち上がると同時に両手を突き上げる
3 できるだけ速くしゃがみ、立ち上がる動作を繰り返す

10秒休んで
2周目へ

2 マウンテンクライマー 20秒



1 両手を肩幅について、太ももを胸に近づける

腰を反らないよう、お尻の高さをキープ

2 手をついたまま全力でダッシュするように太ももを交互に上げる

10秒休んで
次の種目へ

4 クイックプッシュアップ 20秒



体幹と太ももは一直線にキープ

1 両手は肩幅よりやや広く、膝をつく



2 素早く胸をすれすれまで下げたら、全力でプッシュして①の姿勢へ

10秒休んで
次の種目へ

3 クイックヒップスラスト 20秒



お尻と太ももの裏の筋肉を意識

1 両手を腰幅よりやや広くし、膝90度、両手をついて少しお尻を上げる



2 両足で踏んばって素早く腰を持ち上げたら、すぐに①の姿勢へ

2022年度

学生募集

根釧酪農郷からの出発

北海道別海高等学校 農業特別専攻科募集案内



農業次世代人材投資資金(旧・青年就農給付金・準備型)制度対象校です(要審査)。

入試日程等(1次)【募集人員20人 就業年限2年間】

願書受付

令和4年1月7日(金)から
令和4年1月20日(木)正午まで

検査日

令和4年1月31日(月) 10:00

合格発表

令和4年2月9日(水)

検査内容

作文および面接

願書配布

令和3年11月29日(月)

年間必要経費

入学金や授業料など

44,730円

後援会・学友会費など

53,100円

合計97,830円

※令和3年度入学生初年度
※一部補助金(移住等により)を受けることができます。

日課表

～ 通常授業日 ～ (R4予定)

1 講目 10:40～11:40

2 講目 11:40～12:40

昼休み 12:40～13:35

3 講目 13:35～14:35

放 課 14:35～

1年間登校日数

90日間(必要最低日数)
※より通い易い授業時間に設定しています。

農業特別専攻科の特色

- 18歳以上の酪農従事を目指す方が、就労・実習を行いながら学校で酪農の理論を学びます。
- 牧草の収穫時期には、農場【自宅・実習先】で実践を、春・秋冬には学校に通学して理論を学びます。
- 正規従業員として法人や農場で働きながら通学可能。親方家庭への住み込みや実習生用の間借りなど、ご相談に応じます。

実習先農家の例

3食あり、家賃なし、交通費なし実習代(7～8万程度)支給。

酪農関連団体との連携・多様な視察研修の充実

- 各農業協同組合、農業改良普及センター、酪農試験場、NOSAI道東、家畜保健衛生所、消防署等に講師を依頼し、専門分野の集中授業を行っています。
- 普及センターや農協など各事業所の協力の下、多様な酪農家への視察研修会を充実させています。



海外研修(選択)

- ニュージーランドでの研修が行えます。(2年時選考含)費用の一部補助有。



令和4年度入学説明会

校外向け説明会は終了しましたが
が随時受付をしています。
まずはお気軽にお問い合わせ下さい!!

資料請求等・お問い合わせ先

別海高校農業特別専攻科 まで

〒086-0214 北海道野付郡別海町別海緑町70-1
FAX.0153-75-2263 TEL.0153-75-2053
URL <http://bekkai.hokkaido-c.ed.jp>
E-mail bekkai-z4@hokkaido-c.ed.jp





●【酪農経営科】

①高校生のビジネスコンペで最優秀賞を受賞—

酪農経営科の飼料作物班の2・3年生5名と普通科2年生の総合的な探究の時間で、「お菓いで町づくり」を研究している生徒3名と普通科3年生で、大学の経済学部に進学する3名がチームを作り、別海町の牛乳を使用したせんべいを開発して、ビジネスコンペティションに応募し、最優秀賞を受賞しました。



このビジネスコンペティションは、3年前から開催されており、釧路・根室地域の7校から20チームが参加して、地方創生についてのビジネスモデルを企画書にまとめ、7分間のプレゼンテーション動画を作成して審査を受けました。

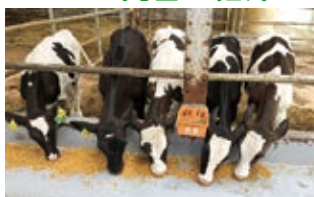


開発中の様子(上)
包装紙のデザイン(下)

このビジネスコンペティションは、3年前から開催されており、釧路・根室地域の7校から20チームが参加して、地方創生についてのビジネスモデルを企画書にまとめ、7分間のプレゼンテーション動画を作成して審査を受けました。

②ビジネスコンペティションの内容の紹介—

酪農経営科では、5月に若葉牧場で離乳時に薬用植物のエゾウコギを給与する実験を行い、8月にはJ A道東あさひの哺育育成預託センターで、除角時のストレス軽減のためにエゾウコギの給与試験を行ったところ、ストレスが軽減されるということが分かりました。



開発 別海孝行できる菓子
高校生ビジネスコンペ 初参加で最優秀賞



エゾウコギの給与試験(上)
朝日新聞記事(12月7日付け)

エゾウコギについては、免疫力を高める研究も行われていることから、このエゾウコギに注目し、他にも、免疫力を向上させる研究が行われている森永乳業株式会社のシールド乳酸菌と、日本甜菜製糖株式会社のオリゴ糖のラフィノースの、2つの食品添加物と一緒に配合してお菓子を作りました。小麦粉などの原材料のほとんどを北海道産とし、別海町で生産された牛乳を使用してお菓子の試作を重ね、網走市にある古川製菓株式会社に製造をお願いしました。

将来は、ふるさと納税の返礼品にすることや、売上の一部を森林を保護する団体、飢餓を防ぐ活動を行っている団体に寄付することにしています。

2月には副賞として、初音ミクの運営会社のクリプトン・フューチャーメディア株式会社を視察します。

●【専攻科】修了研究活動発表会実施—

11月26日(金)2年目学生による修了研究活動発表会を実施しました。今年度は、「搾乳牛の健康を観察して見えたこと」、「牛体スコアから見える問題」、「移行期における管理方法の見直しについて」の3課題を発表しました。



学生発表の様子

1つ目は乳房炎等の疾病管理記録とBCS等のスコアを記録し、その結果と乳検データを比較しながら疾病の原因を探り、その対処方法や予防対策などを行った結果を発表しました。

2つ目は、牛舎の東西で夏場の気温差や風の通りに違いがあり、実際に測定した数値と牛体スコアや乳検データと照らし合わせ、どのような問題が起きているのか調査し、改善ポイントを発表しました。3つ目は、初産牛が分娩予定日より平均4.8日早く生まれ、分娩前の馴致期間が短くなる傾向にあり、その結果分娩後の疾病や産後の肥立ちの遅れなどの問題が発生していることに着目し、初産牛の馴致期間を増やすことで、どのような影響・効果があるか検証したことを発表しました。

関係機関から来校いただいた2名の講師の先生より、様々な視点からご助言やご意見をいただきました。ご指導いただいたことを参考に、継続して経営改善に取り組んでほしいと思います。

●【専攻科】根室管内青年農業者会議へ参加

12月7日(火)酪農試験場にて、根室管内4Hクラブ連絡協議会・北海道根室振興局主催の第47回青年農業者会議が開催され、学生3名が参加しました。

この会議は、管内農業の担い手として実践活動を行っている青年農業者が、実践を通して身につけた技術や知識の交換を行い、交流を深めることを目的としています。



発表の様子

アグリメッセージ部門で、2年目学生の安田美琴さんが「それでもわたしは牛舎へと」と題し発表を行いました。「農業高校で乳牛と出会ってから5年、牛の見方が変わり、現代酪農を取り巻く状況に疑問も感じる中で、放牧と6次産業を取り入れている道北の牧場での研修を経て、これから自分の進む道筋が明確に見えた」と希望を語りました。4Hクラブ員による栄養面に着目した乾乳管理、永年草地のサブソイラー施工による土壌硬度の改善についての発表もあり、改めて若者が集って成果を発表する意義を感じさせてくれる会議となりました。



乾乳期は過密を避けよう

周産期疾病を防ぐためには、乾乳期に十分な飼養スペースが必要です。そのガイドラインと農場事例をご紹介します。

1 過密は採食量を低下させる

乾乳牛にとって飼槽と休息スペースにおける過密は、生理現象以上の食い込み量（採食量）の低下を招きます。

乾乳期に食い込み量が低下すると、大きなストレスがかかり周産期疾病の要因となります。過密を解消することは、食い込み量を増加させ、周産期疾病のリスクを減少させることにつながります。

2 休息スペースに注意を！

飼養での競合が高まると、食い込み量の低下やいわゆる負い牛が発生し易くなります。負い牛は、飼槽での採食時間が減少するため濃厚飼料の採食量が偏ったり早食いが起きたりします。

飼槽幅は全頭が並べるように、1頭当たり72cm以上確保しましょう。

また、1頭に必要な最低限の休息スペースは表1の通りです。

表1 推奨される乾乳牛の密度

形態	スペースの考え方・目安
フリーバーン	休息スペースとしての広さ
前期	10~12㎡/頭
後期	12~14㎡/頭

(出典:酪農試験場,「乳牛の周産期管理マニュアル」,2019年)

3 事例からみた乾乳期管理のポイント

別海町A牧場の事例を紹介します。

改善前…フリーバーン(10間×6間(194㎡)に乾乳前・後期牛を飼養していました。多い時には、25頭飼養されており、1頭当たりの休息スペースは、約8㎡と過密でした。そのため、食い込み量が低下し、第四胃変位が年間12頭ほど発生していました。

改善後…乾乳前期牛用のフリーバーン(11間×6間の214㎡)を新設しました(12,000千円)。それにより、既

存の乾乳舎を乾乳後期牛用として乾乳前・後期牛を別牛舎で飼養できるようにしました。その結果、過密が解消され食い込み量が増加しました。現在、第四胃変位の発症牛は年間1頭ほどに減少しています。

・休息・飲水スペースの拡大

乾乳前期牛舎の面積は214㎡、飼養頭数15頭で1頭当たりの休息スペースは、14㎡と十分なスペースが確保されています(写真1)。

乾乳後期牛舎の面積は、194㎡、飼養頭数10頭で1頭当たりの休息スペースは、19㎡確保されています。



写真1 広く清潔な乾乳舎

また、飲水スペースも広く、清潔に保たれているため十分な飲水量が確保できています(写真2)。



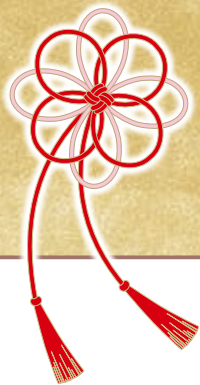
写真2 清潔な水槽

・採食量向上

十分な飼槽幅と休息スペースを確保したことにより、採食量が向上しルーメンの膨満度は高くなりました。

4 最後に

周産期のトラブルが気になる時には、乾乳牛の飼養密度に着目してみてくださいでしょうか。周産期のことで気になることがありましたら、普及センターにご相談下さい。



謹賀新年

関連会社より新年のご挨拶

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます
令和4年 元旦



代表取締役 望月英彦

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2117・FAX(0153)76-2278

旧年中は何かとお世話になりました
本年もどうぞよろしくお願ひいたします
令和4年 元旦



代表取締役 望月英彦

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2861・FAX(0153)76-2865

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます
令和4年 元旦



訪問介護ステーション「あさひな」

別海町中春別南町3番地 中春別農業協同組合2階 TEL・FAX(0153)76-3383

旧年中は何かとお世話になりました
本年もどうぞよろしくお願ひいたします
令和4年 元旦



代表取締役 望月英彦

酪農研修センター 別海町中春別170-1 TEL(0153)76-1230・FAX(0153)76-1232
全酪連育成センター 別海町中春別131-42 TEL(0153)76-1878・FAX(0153)76-1878
共和育成センター 別海町中春別115-7 TEL(0153)76-2040・FAX(0153)76-2016



十二支

寅年

の豆知識



今年は何年か一度の「五黄の寅」。九星気学において最強の運勢と言われる「五黄土星」と、十二支の中で最も運勢が強い「寅年」が重なった年で、この年に生まれた人は非常に強い運勢を持つと言われています。近年では大正3年、昭和25年、昭和61年の人が「五黄の寅」です。この年の有名人を調べてみると、石原さとみさんや和田アキ子さん、ダルビッシュ有さんや志村けんさんなど、カリスマ性がありその道で一世を風靡した方ばかりです。



組合員の皆さま並びにご家族の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新年をお迎えの事、心よりお喜び申し上げます。

日頃より広報誌「なかしゅんべつ」をご愛読いただきありがとうございます。令和3年4月号からリニューアルし、試行錯誤しながら毎月広報誌を作成しています。今後も皆さまに楽しんでいただけるような紙面づくりに取り組んでまいりますので、取材の際にはご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、昨年の組合員の広場では、写真や同志会主催の牛の絵画コンテスト応募作品を掲載しました。たくさんの応募をいただき、まだ掲載していない作品もありますので順次掲載していきたいと思っております。他にも組合員の広場では、俳句や川柳、絵画や写真など多数の作品を募集しておりますので、一度も載せたことがない人でもお気軽に営農振興課・原内までご連絡ください。

これから本格的に寒さが厳しくなりますので、車の運転と体調管理には十分にお気をつけてお過ごしください。

本年が皆さまにとって、素敵な1年となりますようお祈り申し上げます。(原内)